

# 引用形式「って」における終助詞的機能

池谷 知子

神戸松蔭女子学院大学 言語科学研究所  
tikeya[at]shoin.ac.jp

---

## The Function of Quotation Form “-tte” as Sentence-final Particle

Tomoko IKEYA

Kobe Shoin Women’s University Institute of Linguistic Sciences

### Abstract

「って」は引用を表すものとして知られている。しかし、文末に現れる「って」には、先行発話が存在せず、単なる引用ではないと思われる用法がある。

1. 強調 (emphasis) この服、絶対あなたに似合うって！
2. 話し手の印象 (Speaker’s impressions) 大人をみると、仕事は大変なんだなって。
3. 独り言 (Monologue) 俺の仕事、うばいやがって。

本論文では文末の「って」が、単なる引用ではなく、話し手の「私的領域内情報」を表す形式と考える。このことにより、従来の研究において、引用として扱うことが難しかった終助詞化した「って」に対して、包括的な説明を与えることができることを明らかにしていく。また、話し手の私的領域内情報を、聞き手に示すことで、様々な語用論的意味が生まれ、それが独自の意味機能を持った形式として発展していくことを論じる。

While it is widely accepted that the form of “-tte” in spoken Japanese is an expression for quoting what another person has said, there are some cases where this rule does not apply. When the form “-tte” is used at the end of a sentence, different usages have been observed since there is no preceding speech to quote. For examples:

1. Emphasis: “Kono fuku, zettai anata ni niau tte” (This shirt suits you nicely, I really mean it!)

2. Speaker's Impressions: "Otona wo miteru to, shigoto wa taihen nandana tte"  
(Observing adults teaches me that doing one's work is never easy, as it is difficult to get the job done well.)
3. Monologue: "Ore no shigoto, ubai yaga tte" (Damn it! They took my job.)

In this study, the author considers that the variants mentioned above represent information from the personalized domain of the speaker. This assumption enables us to give a more comprehensive explanation for the usage of "-tte" as a sentence-final particle, where previous studies find difficulty in treating it as quotation. This study also claims that various pragmatic interactions are generated between the speaker and listener by expressing information from the personalized domain of the speaker, and these interactions develop into a form with particular meaning and function.

キーワード: 「って」, 引用形式, 情報のなわ張り理論, 話し手の私的領域内情報, 終助詞

**Key Words:** 'tte', quotation form, theory of the territory of information, information from the personalized domain of the speaker, sentence-final particles

## 1. はじめに

「って」は「と言う」などの述語が省略された形で、引用を表すものとして知られている。『教師と学習者のための日本語文型辞典』(1998;pp.231-233)の「って」の項では次のような6つの用法があると、述べられている。(例文は一部抜粋した)

### 【って】

#### 1 N って N

- (1) これって、キアリーって作家の書いた本です。
- (2) A:留守の間に人が来ましたよ。B:なんて人?
- (3) 佐川さんって人に会いました。

くだけた会話で使う表現。「N という N」縮まった形。「キアリーってという作家」「なんていう人」のように「N っていう N」の形でも使う。話し手が知らない、あるいは聞き手が知らないだろうと考えられるものごとについて述べるときに使う。疑問詞「何」のあとでは「って」ではなく、「なんて」になる。

#### 2 …って<主題>

[N って]

[A って]

[V(の) って]

- (1) WHO って、何のことですか。
- (2) 赤井さんって商社に勤めているんですよ。
- (3) 若いって、すばらしい。
- (4) 都会でひとりで暮らす(の) って、大変です。

そのことを話題としてとりあげて、定義や意味について述べたり、評価を与えたりするのに使う。くだけた会話の表現。定義や意味について述べる場合、かたい書き言葉で「Nとは」に当たる。また、(4)のように動詞を用いた句の場合は、「Vのは...だ」に対応する話し言葉の表現。

### 3 ...って<引用>

#### a...って

- (1) かれはすぐ来るって、言ってますよ。
- (2) お母さん、きょうはいやだって。

文を引用する「と」に対応するくだけた会話の表現。改まった会話以外では広く用いられ、男性、女性の別なく使う。(1)は「かれはすぐ来るといっていますよ」の意味。(2)のようにあとの部分を省略して、聞いたことなどを伝える表現としても使う。

### 4 ...って<聞き返し>

- (1) A: これどこで買ったの?  
B: どこって、マニラだよ。
- (2) A: もうこの辺でやめてほしいんだが。  
B: やめろって、一体どういうことですか。

相手のいったことをくり返して、詰問に応酬したり、反問したりするのに用いる。くだけた会話の表現。「...というのは」という表現に対応することが多い。

### 5 んだって<伝聞>

[N/Na んだって]

[A/V んだって]

- (1) あの人先生なんだって。
- (2) 山田さん、お酒きらいなんだって。
- (3) A: あの人、先生、なんだって? B: うん。英語の先生だよ。
- (4) A: 山田さん、お酒きらいなんだって? B: うん。そう言ってたよ。

「のだ/んだ」とく引用>の「って」が結びついた形。人から聞いて得た情報であること(伝聞)を表す。(3)~(4)は上昇調で、聞いたことを持ち出して聞き手に確認の問いかけをする表現。(以下略)

### 6 ...たって

そんなことしたって、むだだ。  
そんなこと言ったって、今からもどれないよ。

最後の「たって」は逆接を表すもので、「ても」のくだけた話し言葉の言い方とされて

いる。そのため、今回の考察の対象から外す。これまでのことをまとめると、「って」には次の用法があることがわかる。

- 用法1 同格 N って N
- 用法2 主題 … って 何
- 用法3 引用 … って 言う
- 用法4 聞き返し … って どういう こと ですか？
- 用法5 伝聞 … なんだ って

これらに共通することは、まず、くだけた話し言葉で使われ、書き言葉ではないという点がある。また、「N1 って N2」という形式の用法1以外、名詞、動詞、形容詞、形容動詞とすべての品詞を取ることができる。また、「と」と同じように、単語のみでなく補文を取ることできる。

用法1～用法5をまとめると、それが「同格」「主題」のように文頭に近いところに付いていても、「引用」「伝聞」「聞き返し」のように文末に近いところに付いていても、基本的に「～って (いう)」という構造をもっていると解釈できる。用例1から用例5は連続的なものであるが、本研究では、文末に現れ終助詞的な働きをする「って」をとり扱うため、とりえず、用法1「同格」と用法2「主題」について考察の対象から外す。

まとめると、文末に現れる「って」は用法3「引用」、用法4「聞き返し」、用法5「伝聞」の3つの用法があることになる。これらが使われる文は、省略されていても多くの場合、「って」の後ろには「お母さん、きょうはいやだ って (言ってたよ)。」のように「いう」に代表される発話を表す動詞を入れて復元可能である。しかし、話し言葉では「お母さん言ってたよ。いやだ って。」のように倒置が起こったり、文脈によってその発話動詞が予想される場合は、省略される傾向がある。その場合、「って」だけが文末に残されることになり、「って」が終助詞化する1つの要因ともなっていると考えられる。

これらの用法は「引用」のバリエーションとして考えることが可能であるが、これ以外にも実は、「って」には、誰かの述べたことを引用するのではなく「そんなことないって！」のような、「自分の意見を主張する」という用法があることも指摘されている。

- (1) (知らない渡辺という人から手紙が来た)  
 いつき: 神戸の渡辺さん、ママ、覚えてない?  
 母: 渡辺さん? あんたの方が忘れてるだけじゃないの?  
 いつき: そんなことないって絶対しらないもん 許 (1999)
- (2) (服を買おうか悩んでいる友達に対して)  
 この服、絶対似合うって! (筆者作例)
- (3) 咲 今朝からずっとかながえていたんだけど。  
 三上 何。言ってくれ  
 咲 愛してるって。だから愛してるとか、そういうアレあなたから全然言ってもらったことないなあって。 堀口 (1995)

## (4) (終電に会社員がたくさん乗っているのを眺めながら)

大人を見ていると、仕事は大変なんだなって。 (筆者作例)

堀口 (1995) はこれらの例を「発話」としながらも、実際の発話ではなく、現在の自分の思いや考えを「って」を使って述べたものだとしている。つまり、「って」は引用とされながらも、文末の「って」は終助詞のように、話者の強い主張や話者の思考を表すことも可能である。本研究では、このような「って」を用法6とし、「終助詞的用法」と呼ぶ。

表 1: 本研究でとりあつかう「って」の用法

用法 3 引用	…っていう	(例 彼はすぐ来るって言っていますよ)
用法 4 聞き返し	…って?	(例 やめろって、一体どういうことですか?)
用法 5 伝聞	…んだって。	(例 山田さん、お酒きらいなんだって)
用法 6 終助詞的機能	…って。	(例 そんなことないって)

本研究は、「って」を使って述べるということが、本質的にどのような働きがあるかを探ることにより、これらの用法に包括的な説明を与えることを目的とする。議論の順として、まず、「って」は引用形式といわれているが、何を「引用」しているのかを考える。そして、「って」は終助詞的な様々な意味用法があるとされているが、それを語用論的含意とし、どのような理屈で、その用法になるのかを考えていきたい。

また、先行研究において、「って」と「んだって」を別の表現として分けて考える立場がある。最終的にはその違いを明らかにするべきだと考えるが、特に「伝聞」の用法では、この2つは言い換えができる例も多い。本研究では、文末の「って」の働きを明らかにするという立場から、「んだって」は「のだ文」に「って」が付いたものとして扱い「んだって」を独立した形式とせずに論じていく。

## 2. 先行研究 文末の「って」について

文末に現れる「って」の用法については、多くの先行研究で様々な意味があることが指摘されている。代表的なものとして、藤田 (2014)、加藤 (2010)、岩男 (2003)、辻 (2001)、堀口 (1995)、山崎 (1996)、Suzuki, S (1998)、許 (1999) などがある。

研究者によって分類の数は異なるが、これらの先行研究に共通することは、文末の「って」の用法は大きく「A 引用」と「B 問い返し」と「C その他の用法」にまとめることができる。本研究の表1で示した用法と対応させると、「A 引用」は用法3「引用」と用法5「伝聞」をまとめたもの、「B 問い返し」は用法4「聞き返し」に対応している。

### 【先行研究における「A 引用」】

用法 3 引用	…っていう	(例 彼はすぐ来るって言っていますよ)
用法 5 伝聞	…んだって。	(例 山田さん、お酒きらいなんだって)

### 【先行研究における「B 問い返し」】

用法 4 聞き返し	…って?	(例 やめろって、一体どういうことですか?)
-----------	------	------------------------

## 【先行研究における「C その他の用法」】

用法6 終助詞的機能 …って。(例 そんなことないって)

本研究では用法6「終助詞的機能」としたもののについて、加藤(2010:58)では先行研究をまとめて次のように述べている。

次に特徴の二つ目は、それぞれの用法の存在には、ほぼ一致を見て取ることができることである。先行研究では、分類基準や分類対象とする「ッテ」の範囲や、分析の深さはことなっているが、例文から判断するに大体同じような用法が取り上げられ、記述されてきた。例えば、三枝(1997)の「訴えかけ」、Suzuki,S(1998)の「強調」(原文は emphasis)、許(1999)の「相手の話に反発する」、岩男(2003)「押しつけ用法」は、同じ用法を指していると理解できる。

本研究ではこれらをすべてまとめて用法6「終助詞的機能」とし、それぞれの意味は語用論的含意によって生まれると考える。

加藤(2010)は先行研究を踏まえた上で、「と」「って」という形態の別によらず、話し言葉の談話において果たす機能の観点から、議論を行った。加藤は引用表現をAからEに分類し、その中で「と」と「って」を位置づけている。今回は「って」を扱うため、「って」に関係があるものを網掛けとゴシックにしておく。

表 2: 各分類と代表的な引用標識の形態 (加藤(2010:69)表 4.1)

大分類	下位分類の名称	代表的な形態
A	休止系・接続部省略系・引用部並列系	ト
B	帰結確認用法・帰結述べ立て用法	ト
	精緻化情報確認用法	ッテ
C	言明用法・理解困難表示用法・意外感表示用法	ッテ
D	伝言取り次ぎ用法・伝聞情報表示用法	ッテ
E	自己演出用法	ッテ
	発語の力軽減用法・自己確認納得用法・認知境界表示用法	(ッ)ト

大分類の定義は次のようになっている。

加藤(2010:65-66)では次のように述べている。

- (A) (話し言葉において形態の若干の変化を伴うが) 引用の基本型を表示する機能をはたすもの
- (B) 先行文脈の関連情報を談話内で追加するもの
- (C) 話者の情報伝達・受容にあたっての心的態度を表すもの

(D) 情報の種類を明示しつつ情報の伝達に関わるもの

(E) 発話意識の表明により発話境界を表示するもの

本研究は「って」のみを対象とするので、「と」の議論を割愛し、加藤(2010)を中心に、それに対応した先行研究で文末の「って」について述べられたものを紹介していく。その際、多くの先行研究から例文を引用するが、論文によって「って」の表記が「ッテ」と「って」と2つの種類がある。本研究では、引用する場合でも全体の統一性を鑑みて「って」で表記する。また、用例の引用も、本研究のスタイルに統一させた。また、文の適格性を表す記号として、話者によって揺れがある文を「?」で、非文を「\*」で表す。

それでは、加藤(2012)の表2に従って、「①精緻化情報確認用法」「②言明用法・理解困難用法・意外感表示用法」「③伝言取り次ぎ用法・伝聞情報表示用法」「④自己演出用法」の順で「って」の用法を述べていく。

### 2.1. ①精緻化情報確認用法

加藤(2010:105)では談話の精緻化情報を引用部に持つ用法として、精緻化情報確認用法を上げている。これらは、ターンの切れ目に現れ、話者が創作した、先行文脈に既出の概念の状態や程度を表す言語表現を引用部に位置させるという意味特徴をもつ、としている。また、この用法は、先行文脈の情報を発話の形に仮託して話者によって創作された引用部をもつ点が特徴的だとしている。加藤(2010:106(11))の例を引用する。

(5) (外国語に使用されている記号をパソコンで出す際に苦労したという共通の経験について話している。)

- 1 J2: そう、私もフランス語の、なんかアクセント記号とか
- 2 J1: あっ。
- 3 J2: あれ、キーボードの配列、の、なんか、キーボードっている図を横に置き【つつ
- 4 J1: 【あー
- 5 J2: 「これね」とか言って
- 6 J1: うん。
- 7 J2: こうシフトキーとか押しながら。
- 8 J1: そうそうそうそう。
- 9 J2: うん。
- 10 J1: そうしないと、そう【分かんない
- 11 J2: 【出ない、うん。
- 12 J1: そう私、それ出すやり方わかんないから
- 14 J2: うん。

- 14 J1: 引っも手探りで。  
 15 J2: (笑)  
 16 J1: 大体、  
 17 J2: 「これかな」って (笑) ?  
 18 J1: そう。クエスチョンマークは多分一番上の  
 19 J2: うん。  
 20 J1: 数字とかの。  
 21 J2: うんうん。  
 22 J1: あの列にあるんですよ。で、シフト押しながら  
 23 J2: うん。  
 24 J1: こう一個ずつ、全部押して行って。(笑)  
 25 J2: (笑)、「あ、あった」って。  
 26 J1: そう。

加藤(2010)によると、17のJ2の発話“「これかな」って”はJ1が試行錯誤している状況を、J2が「これかな」という言語形式の仮託している。25のJ2の発話“「あ、あった」って”も同じように、探し当てたときの状況を話者J2が創作した「あ、あった」という言語形式に仮託しているとしているとし、これらことから、「って」が独立した機能をもちつつあるとも述べている。

加藤(2010)の議論から分かることは、引用というものを狭義に捉えるならば、それが、直接引用であれ、間接引用であれ、先行する何らかの言語活動というものが必要であると考えるのが当然であるが、加藤(2010)は「って」は先行発話がないものであっても、構わないことを指摘している。

本研究においても、藤田(2014)などをはじめとした先行研究の知見に依拠し、加藤(2010:19)にならい、引用を以下のように定義する。

<引用とは>

- (ア) 引用とは、所与と見なされる言葉を実物提示の形で発話の場に再現することである。  
 (イ) 引用するという行為は、発話の場における様々な環境・条件に照らし合わせ、最も適当な表現を引用された言葉として選択する、話者の主体的な営みである。

ここで述べられていることは、引用の言葉というのは、オリジナルの言語をそのままコピー&ペーストするのではなく、話者が意図を持って選び出し、話し手によって主体的に作り出された「表現」であるということである。本研究でもこの立場を支持する。

## 2.2. ②言明用法・理解困難表示用法・意外感表示用法

言明用法・理解困難表示用法・意外感表示用法は、話者の情報伝達・受容にあたっての心的態度を表すものであり、加藤(2010)では、モダリティに近いものとされている。これらの用法は、自己の発言を話し手が存在するその場で引用するもので、藤田(2002)

の「リアルタイムの引用」と呼ばれるものである。その引用する時に「って」をつけることで、言明用法は「いらだち」や「不満」、意外感表示用法は「意外感」「驚き」など特定の心的態度を表すマーカーとして機能している。その例として、加藤(2010:125(3)と128(6)の例)から引用する。まず、本研究における用法4「聞き返し」に相当する「理解困難表示用法」を解説し、次に、用法6「終助詞的機能」に相当する「意外感表示用法」と「言明用法」を解説しておく。

#### (6) 理解困難表示用法

1A: えーっつと、サワーさんの趣味はなんですか？

2B: あの、すみません。趣味って。あの。

3A: 好きなこと。 加藤(2010)

「理解困難表示用法」は理解できなかったことを相手に問いかける、「問い返し」「聞き返し」と言われてきた用法である。加6のような単に理解できない言葉を聞き返す場合は、特別な意味は特に感じられないが、聞こえていることをわざわざ聞き返す場合、それは語用論的な意味を帯びようになり、次の用法と繋がっていく。

それでは、次に、特定の心的態度を表すマーカーとして機能している、意外感表示用法（「意外感」「驚き」と、言明用法（「いらだち」や「不満」）を見ていく。

#### (7) 意外感表示用法

1A: 総務の山田さん、知ってる？

2B: 知っているよ。あの物静かなニコニコしている人でしょ？

3A: うん。山田さんの奥さん、すごく若いの知ってる？

4B: へえ。何歳下？

5A: 18歳下。

6B: すごいね。18歳下って！ (筆者作例)

5Aが「18歳下」というのを、6Bで「18歳下って」と繰り返すことによって、聞こえているけれども聞いたことが理解しがたいことを表す。それが、文脈により「意外感」「驚き」という語用論的な意味を帯びていく。

加藤(2010)で「いらだち」や「不満」を表すとされる「言明用法」は、先行研究で「訴えかけ」「強調」「相手の話に反発する」「押しつけ用法」と対応するものだと考える。冒頭の許(1999)の例を再掲し、「発言を強める」機能をもった「って」としてあげられた辻(2001)の例もあわせてあげておく。

## (8) 言明用法

(=1) (知らない渡辺という人から手紙が来た)

いつき: 神戸の渡辺さん、ママ、覚えてない?

母: 渡辺さん? あんたの方が忘れていただけじゃないの?

いつき: そんなことないって

絶対しらないもん 許 (1999)

(9) 1A: 太郎、そろそろゲームをおしまいにしなさいよ。

2B: うん。

[1時間後、太郎はまだゲームをやめない]

3A: ねえ、もういい加減やめなさいって。

4B: わかってるって。 辻 (2001)

これらは明確な先行発話はないが、8は「忘れてるんじゃないの?」という発話に対して、「そんなこと(忘れてる)はないって」と、相手の発話を否定する話し手の主張に「って」がついている。また、9は再三行われた「ゲームをやめなさい」というAの主張に対して、「(ゲームをやめることは) わかってるって」と、話し手の主張に「って」がついている。許(1999:84)では「自分の考えを引用し、相手を説得するなど相手に対する何らかの働きかけがある」と述べている。

これまでの議論をまとめると、文末の「って」には、加藤(2010)「いらだち」「不満」「意外感」「驚き」があるとし、三枝(1997)の「訴えかけ」、Suzuki,S(1998)の「強調」(原文は *emphasis*)、許(1999)の「相手の話に反発する」、岩男(2003)「押しつけ用法」あわせると、8つにもなる。どの用法も聞き手への働きかけを含んだ心的態度を表すという点では一貫している。

また、これ以外にも、「命令」や「勧め」「勧誘」にも「って」が使われることが辻(2001:85)では指摘されている。

(10) [て形・命令] (打ち上げ花火の準備の花火をしている大人のそばによってこようとする子供に)

1A: 近づかないでって! 辻 (2001)

(11) [勧め・挑発]

1A: やーい、飛べないだろう。

2B: うーん。

3A: くやしかったら、飛んでみろって。 辻 (2001)

(12) [勧誘]

1A: 困ったなあ。辻 (2001)

2B: だから、なにはともあれ、相談に行こうって。 辻 (2001)

このように文末の「って」は、文脈によって多くの意味用法を持つ。しかしながら、そ

れら1つ1つを独立した用法として捉えると「って」全体の話をもとめることが難しい。本研究では、それぞれの用法は語用論的に生み出されるものと考え、ひとまず、これらを終助詞的な「って」とまとめておく。そして、「って」で表すことが、本質的に何を表すかを明らかにすることによって、これらの意味用法が生まれる理由を考えて行きたい。

### 2.3. ③伝言取り次ぎ用法・伝聞情報表示用法

加藤(2010)では、「って」の用法として、第三者によりなされた発話の内容を、聞き手に意味のある情報として伝達するという「伝言取り次ぎ用法」と情報源を特に明示する必要がない何らかの情報を「自分以外の情報源から得た情報」として聞き手に伝達する「伝達情報表示用法」があるとしている。

#### (13) 伝言取り次ぎ用法

(子供(2歳:仮名「ひなこ」)が母と一緒に料理の本を見ている場面。知っている野菜を発見して食べる真似をする子供を見て、1メートルくらい離れた場所にいる父が子供に話しかける)

1A 父: ひなこ、パパのは?

2B 母: <娘に向かって>パパもほしいって。

加藤(2010:138)では、これらは引用の基本型の性質を色濃く残しながらも、「第三者によってなされた発話の内容を、聞き手に意味のある情報として伝達するという機能を持つ」としている。

#### (14) 伝達情報表示用法

(新聞を見ながら)「明日、晴れるって」

加藤(2010:141)では、これらは「何らかの情報を『自分以外の情報源から得た情報』として自分の立場から聞き手に伝達するもの」として、情報源を特に明示する必要がない話し手自身が把握した、蓄えた知識を伝達しているとしている。

これらの用法を従来の先行研究と対応させると、これは用法5「伝聞」に分類されるものだろう。ここで伝達された内容は「誰が(明示するかしないかも含めて)」「何を」話したかという点を中心に、話し手が再構成した内容であり、オリジナルの発話そのままではない。

### 2.4. ④自己演出用法

加藤(2010:160)では、その場で引用が行われる「リアルタイムの引用」で、この「って」は言語を理解して、発話に適切に反応することが期待できない聞き手(例えば、幼児や動物)に話す時につくものとされている。そして、発話という行為を行っていることを自覚している話し手の意識を表しているとしている。

- (15) (成人 T が、友人の子供 (1 歳 8 ヶ月：仮名「ひなこ」) に向かって話しかけている。  
 周囲にはその子供の親、親の友人ら計 5 人の大人がいる)

T: ひなこちゃん、食べますかーって。これ、食べますかーって。

加藤 (2010) は、これは発話行為を強調することによって、自分は答えの期待できないものに話しかけていることを自覚していることを周囲に伝えており、言葉以外の何らかのコミュニケーションを成立させたい気持ちがうかがえるとしている。

これらは文末についているが、他の終助詞的機能の「って」のように、「いらだち」「不満」「意外感」「驚き」のような、話し手の心的態度を積極的に表しているとは言い難い例である。

### 3. 先行研究における「って」の問題点

これまで、先行研究を概観しながら、様々な文末の「って」についての用法について概観してきた。

ここでもう一度、「って」が発話される際の条件についてまとめておく。多くの先行研究が述べているように、「って」はくだけた話し言葉に現れるとされている。また、話し言葉ということから、潜在的に聞き手を想定しているとされている。その証拠として、辻 (2001:86) では、「つと」と違って、「って」が聞き手不在文発話とは相容れないことを述べている。

- (16) [意向形・意志の表明] 独り言として  
 あの映画は面白そうだから、絶対に見にいこう {つと/\*って}
- (17) 意向形・発話とほぼ同時に形成された意思の表明] 独り言として  
 さあ、そろそろ出かけよう {つと/\*って}

また、辻 (2001) では、丁寧体と共起できることも聞き手目当て性があることの証拠の一つとしている。

- (18) ええ、わかってますって 田中 (1973)

今回、「って」を分析するにあたって、先行研究であげられた例や、筆者の作例とともに、筆者が独自に文字起こししたものや、日本語話し言葉コーパス (以下 CSJ) から採取したものを使用する。CSJ は講演などの独話、インタビューなどの対話、朗読などの様々な話し言葉を約 661 時間収録した話し言葉のデータベースである。ここで、文末のみに現れる「って」を検索すると、170 例がヒットした。

CSJ は、自然会話のフィラーや言いよどみ、言い直しなどが修正することなく入っている。注意点として、読みやすさと議論をスムーズに進めるため、フィラーや言いよどみ、言い直しなどは ( ) の中に入れ、適宜、句読点を筆者が追加した。

辻 (2001) が述べている聞き手目当ての文法形式と共起している実例を、CSJ から丁寧体、終助詞と「って」が使われている例をあげる。

## (19) [丁寧です+って]

(あの) グループ・ジャマシイっていうのが、(あの) 文型辞典とか出されましたけれども、(あの) (ん) 先生達がお書きになってたんですけれども、その例文を日本語で作るとみんな暗くなっちゃうんですって。で、いい例文が文献にね (あ) ないんですって。

(CS JM03F0017 独話 女性)

## (20) [丁寧です+って]

(おばあさんになったソフィーがサリマンに述べる)

お言葉ですが、ハウルが何故ここへ来たがらないのか、分かりました。ここは変です。招いておきながら年寄りに階段を登らせたり、変な部屋に連れ込んだり…まるで罠だわ。ハウルに心が無いですって? 確かに、わがままで臆病で、何を考えているか分からないわ。でもあのひとはまっすぐよ。

(ハウルの動く城 対話 女性)

## (21) [終助詞よ+って]

だから、(えっと) 大人って言うか、お父さんとかお母さん達にもう一回見直してもらいたいのは、早期教育は能力を子供が元々持っている能力を開花させる為の教育だよって。

(CSJ S09F1350 独話 女性)

藤田 (2000:376) では「って」を「と」との対比において、次のように述べている。(ゴシックは筆者)

このように見れば、引用動詞「って」と「と」の使い分けは、ことばを引くとともに、相手に対して働きかける気持ちを顕在的に加えるか、その点を無色透明にするかといったことだといえる。この程度のことで、実際にいろいろなことは矛盾なく説明可能である。問い返し疑問でもつばら「って」が文末に付されるのは、相手に確認したり反駁する気持ちが「って」に託されるからである。

また、藤田 (2000) はこのことによって、「大丈夫だって」のような「励まし」も相手に働きかけるといところから生まれると指摘している。また、「もういい加減やめなさいって」のように、先行の発話を繰り返して、それについて相手に注意喚起をする時にも「って」が使われるとしている。本研究も藤田 (2000) の立場を支持し、「って」は言葉を引用するとともに、相手に対して働きかけるものとする。しかし、ここに大きな問題がある。それは、「って」は何を引用しているのかということである。

今までの先行研究では、「って」は第三者の言葉も、聞き手の言葉も、自分の言葉や考えを引用することができるということがわかっている。また、先行する発話がなくとも、発話の場における様々な環境・条件に照らし合わせて、その状況を「って」を使って再構成

して、言語化することが可能であることも指摘されている。そうすると、「って」で引用されるものは一体何なのだろうか。

(22) (スマートフォンで天気予報図を見ながら)「午後から雨だって」

話し手が見ているのは傘マークと80%というシンボル化した視覚情報である。それを、話し手は「雨が降る」と自分が理解した情報を言語化して述べている。加藤(2010)では「伝聞情報表示用法」と呼ばれていたものである。これらは「何らかの情報を『自分以外の情報源から得た情報』として自分の立場から聞き手に伝達するもの」とし、情報源を特に明示する必要がない話し手自身が把握した、蓄えた知識を伝達しているとしている。つまり、「って」は自分の知っている知識を伝える時、使うことができるのである。

(23) (友達の結婚の贈り物をAとBで考えている)

1A: バカラのペアグラスっていくらぐらいかな?

2B: 結構、高いって。 (筆者作例)

上の例のように、知識を得た場と発話の現場と離れており、情報のソースも明確ではない場合、「引用」や「伝聞」という意味が薄まり、話し手の意見のようにも感じられる。とはいえ、「バカラのグラスについての値段」という情報を話し手は知識として持っているもので、それを伝えている。

しかし、「って」のもう1つの特徴は、自分自身の意見の主張や確信に使えることである。先行研究では「言明用法」「訴えかけ」「強調」「相手の話に反発する」「押しつけ用法」と言われるものである。

(24) (友達の結婚の贈り物をAとBで考えている)

1A: バカラのペアグラスっていくらぐらいかな?

2B: 高いって! (筆者作例)

23と24はほぼ同じ例であるが、24は「高い」ということを主張しており、Aの意見に反対だということを表明している。23は下降調、24は上昇調とイントネーションが異なるため、それによって意味を使い分けているが、今回はイントネーションの違いには特に触れずに議論を進める。ここで問題なのは、なぜ、自分の知識や意見を開示するときになぜ引用形式を使うのだろうかということである。つまり、「って」は何を引用しているかということである。5節ではこれを明らかにしていく。

あわせて、先行研究では、加藤(2010)「いらだち」「不満」「意外感」「驚き」、三枝(1997)の「訴えかけ」、Suzuki, S. (1998)の「強調」(原文は *emphasis*)、許(1999)の「相手の話に反発する」、岩男(2003)「押しつけ用法」のように、話し手の心的態度を表す例はネガティブなものが多かった。しかし、①のようなポジティブな例や、②のような単なる話し手の印象を表すものなども存在する。また、独り言では使えないとされながらも、独り言のように使える例も存在する。以下のような例が「って」全体のどこに位置するのかもあわせて考えていく。

- ① 強調 (emphasis)  
この服、絶対あなたに似合うって！
- ② 話者の印象 (Speaker's impressions)  
大人をみていると、仕事は大変なんだなって。
- ③ 独り言 (Monologue)  
俺の仕事、うばいやがって。

#### 4. 本研究の立場～私的領域内情報の引用を表す「って」～

今回、CSJで採取した170例のうち、対話の例は19例で、151例は独話のデータであった。もちろん、これには理由があり、CSJは、独話（学会講演・模擬講演）が80%以上を占め、対話は非常に少ない。また、その独話の多くを占める学会講演は男性が多く、その発話スタイルは改まり度が高いとされている。これだけ見ると、「って」はくだけた話し言葉であり、聞き手に働きかけるとされている「って」の成立条件とあまりなじまないように感じられる。

もちろん、独話であっても、聴衆がいるので聞き手は存在する。そのため、「って」が現れてもおかしくはないが、くだけた話し言葉であるとされている「って」がフォーマルスピーチとされている学会講演で使われる時はどういうことなのだろうか。よくあるパターンが引用の時に発話動詞が省略される場合である。

##### (25) 第三者からの引用

その当の向こうの人がですね、文部省の局長になつとるじゃないですか。学校教育局長だ、これもびっくりいたしましたね。で、(そんな、まー)生きとりましたっていうことだけは言わないかんわ、と言ってその日高第四郎学校教育局長のところへ、生きとりましたって言って、こんにちはしたんです。(う)そしたら、お前、就職がまだ決まってないんだったら来いって。

(M02M0018 独話 男性)

上記の例は「って」が対応する発話動詞がないが、文脈から、オリジナルの発話者は「日高第四郎学校教育局長」であり、「日高第四郎学校教育局長に、お前就職がまだ決まってないんだったら来いっていわれた。」ということが容易に理解される。このような例は従来の「引用」のフレームで処理することができるため、独話で現れても不思議ではない。

##### (26) 自分の考えや意見の引用

その害虫を有用昆虫として扱うテーマの論文を書いたんですよ。で、何で虫かっていうことなんですけど、私、(あの)食べるの凄く好きで、んで、下手物とかも大好きなんですよ。で、よくテレビとかでタレントさんが下手物食べて、きゃあきゃあ言ってる番組あるじゃないですか。ああいうのを見ててもちょっと納得行かないと言うか、私は何でも食べれるんで何であんなに嫌がるのかなって。

## (CSJ S00F0082 独話 女性)

しかし、上記の「なんであんなに嫌がるのかなって」は完全に話し手の心内発話である。先行研究の堀口 (1995) を引用した例 3 で述べたように「自己の引用」ができることが指摘されているので、これ自体は別に目新しいわけではないが、独話にも現れるという点を指摘しておく。

従来の研究では「って」は、聞き手を要求するため、ほとんどの例は、対話の例であった。ところが、「って」は先に示したように独話のように、1人で話す場合にも現れることができる。もちろん、独話であっても、聴衆という聞き手は存在するが、ターンテイキングがあったり、あいづちをうったり、共同発話を行うことのない点で、対話の聞き手とは大きく性質を異にする。独話は独り言とは異なるが、独話の聞き手は受動的な聞き手であり、会話の成立には参与しない。これまでの研究では、「って」は聞き手を要求すると言われており、独り言には使われないとされてきた。

しかし、実際に調べてみると、Twitterなどで、独り言的につぶやかれた言葉に「って」がついている例もみられた。

(27) 俺の仕事、うばいやがって。

(28) 実力以上にチャホヤされやがって。

もちろん、Twitterも、発信している以上は想定される聞き手がいるが、これらの例は実際に独り言としても使用することも可能である。それでは、「って」は何を引用しているのだろうか。本研究では「って」は私的領域内情報の引用と考える。私的領域内情報というのは、話者に関わりが深く、話者に属すると考えられる情報である。

どのような情報が話し手に関わりが深く、近いということを示すかについて、神尾 (2002:32) は次のようなものをあげている。

- a. 内的直接体験を表す情報
- b. 外的直接体験を表す情報
- c. 自己の専門または熟達領域に関する情報
- d. 自己の個人的情報

神尾 (2002) では、これらの情報はなわ張りの内にある情報だとしている。本研究は神尾 (2002) 「情報のなわ張り理論」を援用し、「って」は話者の「私的領域内情報」を引用する形式だと考える。こう考えることによって、「って」の用法に包括的な説明を与えることが可能になると考えるからである。情報には客観的な「公的領域内情報」と主観的な「私的領域内情報」があると考えられる。これは、一見、廣瀬 (1997) の「私的表現行為」と「公的表現行為」と似ているが、異なる概念である。

廣瀬 (1997) は伝達を目的としているものを公的なもの、伝達を目的としないもの私的なものとしているが、本研究は、どちらも「って」で述べられた場合、聞き手への伝達を目指していると考えている。ただ、そのリソースとなる情報源が話し手の私的なもの

表 3: 廣瀬 (1997) と本研究との定義の違い

	私的なもの	公的なもの
廣瀬 (1997:7)	私的表現行為 伝達を目的としない個人的営み としての思考表現行為	公的表現行為 伝達を目的とした、社会的営みと しての思考表現行為
本研究の立場	私的領域内情報 私的なものをリソースとした話 し手の主観的の入った情報	公的領域内情報 客観的な事実をリソースとした話 し手の主観が入っていない情報

の場合「私的領域内情報」、客観的で公になっているものの場合「公的領域内情報」と定義する。これは情報によって、決まっているわけではなく、話し手がそれを「引用」として再構成する際に、引用先の情報ソースをどちらで得たものとしてマークしたいかによって選択されると考える。

つまり、スマートフォンで天気予報を見て、それを誰かに伝える時、「午後から雨が降るって」と私的領域情報として伝えるか、「午後から雨が降るそうだよ」と公的領域情報として伝えるかは、話し手が相手にどちらで伝えたいかによって決まるのである。

- a. 午後から雨って。
- b. 午後から雨だって。
- c. 午後から雨が降るって。
- d. 午後から雨ですって。
- e. 午後から雨が降りますって。

a～eのように、文末に「って」をつけるだけなので、どんな形でもとることが可能であり、接続する時に、前節する形式の活用を計算する必要がない。つまり、「って」は非常に発話の計算コストの低い引用形式なのである。

## 5. 「って」は何を引用しているのか

それでは、「って」が話し手の私的領域内情報を引用すると考えることによって、「って」がどのような用法になるかについて考えていく。そもそも、なぜ、話し手の私的領域内情報を表すのに、「って」という引用形式をとるのであろうか。神尾(1990)(2002)の「情報のなわ張り理論」では、話し手に近い情報は「直接形」で述べられるとしている。しかし、それについて、神尾(1990)は話し手に近い情報であっても、場合によってはわざと間接的に表現することによって、それが丁寧さを生むとしている。

神尾(1990:46(77))から引用する。

(上司Xが部下YとZに尋ねる。YはZの先輩である)

X: それで先方と約束は何時なんだ?

Y: 2時半です。

Z: a. 3時半です。  
b. 3時半でしょう。神尾 (1990)

Zは「a. 3時半です」とも「b. 3時半でしょう」の両方の形式を使うことができるが、神尾 (1990) は「明らかに後者の方が丁寧あるいは遠慮がちは発言である」としている。

本研究では神尾 (1990) (2002) を援用し、話し手のなわ張りに属している情報を「私的領域内情報」とする。それでは、神尾 (2002) の私的領域内情報と、これまでの「って」の用法がどのような対応になっているか a から順に考えていく。

神尾 (2002) の話し手に近い情報の条件

- a. 内的直接体験を表す情報
- b. 外的直接体験を表す情報
- c. 自己の専門または熟達領域に関する情報
- d. 自己の個人的情報

「って」で引用される私的領域内情報は神尾 (2002) と重なるところが多いが、あくまで援用するだけで、決してそのままではない。なぜなら、そもそも神尾 (2002) は a~d のように「話し手に近い情報」は「直接形」が使われるべきものであるとしているため、そもそも「間接形」である「って」を使うのは「情報のなわ張り理論」ではルール違反になる。そのため自己の知覚 (内的直接体験) である「頭が痛い」というのを「\* (私は) 頭がいたいって」のように「って」では述べることができない。つまり、「って」が引用形式である以上、それが使える情報は「引用」に適する情報に限られるのである。

### 5.1. 内的直接体験を表す情報の引用

まず、a の内的直接体験を表す情報は、直接、話し手が見たり聞いたりした情報、つまり、自分が話し手や聞き手として参加した談話を引用する場合に使われる。それは過去のものであってもいいし、今、ここで行われている「リアルタイムの引用」でもかまわない。それを「って」で引用すると、これは公的な情報ではなく、自分の記憶にある私的な情報であるというマーカーになる。

ここで言われている情報は、話し手の理解した私的な情報であるので、引用という形式にのせる以上、発話の形にはなっているが、必ずしも、オリジナルをそのまま再現しているのではなく、話し手が聞き手にあわせて再構成した情報である。

(29) おばあちゃんがメイの言葉を引用 (おばあちゃんは聞き手として参加)

サツキ: おばあちゃん? メイ…

ばあちゃん: ごめんな。おねえちゃんのところ行って、きかねえもんだから…  
(となりのトトロ 対話 女性)

これは独話形式でも可能である。話し手自身が実際に話したこと、聞いたことを再現しながら語る方法である。

(30) 聞き手として参加

その当の向こうの人がですね、文部省の局長になつとるじゃないですか。学校教育局長だ。これもびっくりいたしましたね。で、そんな、まー生きとりましたってことだけは言わないかんわ、と言って、その日高第四郎学校教育局長のところへ生きとりましたって言って、こんにちはしたんです。(う) そしたら、お前就職がまだ決まってないんだつたら来いって。(CSJ M02M0018 独話 男性)

(31) 話し手と聞き手の両方として参加

えーと、もう少し詳しく(あの) やったことをお話ししますと、今、(システムの) システムの側の完全、(し) 主導で、(えーっと) (す) 色々聞いてくんですけれども、何曜日ですかって、聞いた後に(えー) 正しく聞く場合で(ま) まず、ユーザ一答えますね、月曜日ですとかって。

(CSJ A01M0021 独話 男性)

(32) 話し手と聞き手の両方として参加

私は(あのー) 時間が掛かるんです。皆—さんより覚えが悪いんです。(けれ) 悪いから、そいで初めから歌えなかった(あのー) が、歌えるようになったもんですからね。で、先生、いつも皆さんの前で歌うのはおんなじ、うちゃ、歌う持ち歌が何曲もないんだけど、先生、そいでいいんですかって伺いますと、先生は、歌手なんか見てごらんないって、一年同じ歌を歌ってるないじゃないですかって。

(CSJ S09F0721 独話 女性)

32では、1つ目の「って」は「伺いますと」でわかるように、話し手が先生に尋ねたことに対して「って」が付いている。それに対して、2つ目と3つ目の「って」は先生の発話についており、先生の発話の引用となっている。

また、「リアルタイムの引用」として、今、自分の聞いたものをその場で繰り返すと、語用論的にその単語の意味がわからない、または、こう聞こえたが正しいのかという「聞き返し」の用法になる。

(33) 聞き手として参加

1A: えーっと、サワーさんの趣味はなんですか？

2B: あの、すみません。趣味って。あの。

3A: 好きなこと。

加藤(2010)

更に、はっきり聞こえているのに、意図的にそれをリアルタイムの引用として繰り返すと、聞こえているけれども相手の言葉を理解したくない、言ったことが信じられないといった「いらだち」「不満」「意外感」「驚き」などの語用論的な効果をもつようになる。

## (34) いらだち/不満

- 千： あの人湯屋にいるからいけないの。あそこを出た方がいいんだよ。  
 リン： だってどこ連れてくんだよー！  
 千： わかんないけど。  
 リン： わかんないって……！……あーあついてくんぞあいつ……  
 (千と千尋の神隠し 対話 女性)

## (35) (=7) 意外感表示用法

- 1A: 総務の山田さん、知ってる？  
 2B: 知っているよ。あの物静かなニコニコしている人でしょ？  
 3A: うん。山田さんの奥さん、すごく若いの知ってる？  
 4B: へえ。何歳下？  
 5A: 18歳下。  
 6B: すごいね。18歳下って！ (筆者作例)

話し手の心理的態度として、ネガティブなものが意味として目立つため、多く上げられがちであるが、リアルタイムの引用として、相手の言ってほしい言葉を繰り返すことで、相手を励ます効果を生む。

## (36) 励まし

- 1A: 明日の試験、大丈夫かなあ。  
 2B: 絶対、大丈夫だって。 (筆者作例)

これらの用法は、相手の言ったことをそのまま繰り返す事から生まれる語用論的效果である。このように、話者が話し手、あるいは、聞き手として直接経験した情報(発話)は、話し手自身の内的情報と考える。それを引用して聞き手に伝達したものを「内的直接体験を表す引用」とする。

## 5.2. 外的直接体験を表す情報の引用

外的直接体験を表す情報は、内的直接体験を表す情報と異なり、自分はその発話や出来事にはメンバーとして参加していない談話を引用する場合に使われる。つまり、その情報が自分自身の直接体験した情報ではないという点で外的である。特に、引用先のリソースがはっきりしている場合は、典型的な「伝聞」になる。

## (37) 姉サツキが妹メイの経験を父に伝える

- サツキ： お父さん。メイ、ここでトトロに会ったんだって。  
 (となりのトトロ 対話 女性)

引用先のリソースは音声情報に限らず、文字情報や信号など、情報を伝達するものなら何でもかまわない。加藤(2010)で「伝聞情報表示用法」と言われるものはこのタイプである。

- (38) (=14) (新聞を見ながら)「明日、晴れるって」 加藤(2010)

また、リソースがはっきりしないような聞いた噂話も引用する場合もこのタイプになる。

- (39) 山田さん、お酒きらいなんだって。 (文型辞典)

このように第三者から聞いたことを伝える場合が典型例であるが、それ以外にも、本や新聞、ニュースなど、外的なリソースから自分で取得した情報も含まれる。次の例は、新聞社のアンケートを基に独話で語っている。

- (40) けれども、(ま,)読売新聞社ではこの程あの避難住民を対象にしたアンケートを行ないました。そのアンケートの回答では避難民の多くが問題を抱えていることがよく分かります。まず、これから年の瀬を迎えるというのに、仕事がなく経済的な不安が続いてるっていうこと、これが一番です。次には(ま,)避難先が東京都内になってますので、島とは平均気温二度以上も低いんですって。

(CSJ S06F0387 独話 女性)

話し手は、新聞社のアンケートを読んでその情報には直接コンタクトしている。しかし、「避難民は、避難先の東京が島より平均気温が二度以上も低いことに不安を持っている」という情報は、話し手には所属していない外的情報である。そのため、それを述べる場合、「って」が使われている。

- (41) (=23) (友達の結婚の贈り物を A と B で考えている)

1A: バカラのペアグラスっていくらぐらいかな?

2B: 結構、高いって。 (筆者作例)

41は明確なリソースがあるわけではないが、過去の自分の経験から「バカラのグラスは高い」という情報をどこかで仕入れているので、それを聞き手に伝えている。同じ伝え方でも、「バカラのグラスは高いそうだよ」のように「そうだ」は、客観的な情報をリソースにしているおり、それを明確な伝聞形式で伝えている。それに対して、「って」は、私的に集めた情報であることを示しながら伝えている。そのため、もし、その情報が間違っていたり、他の人(特に聞き手)と情報が異なってもかまわない。つまり、「って」には、聞き手との意見の対立を避ける効果がある。Brown & Levinson(1987)の「ポライトネス理論」では、相手のフェイスを脅かすこと(Face Threatening Act:FTA)を避けるために、様々なポライトネス・ストラテジーを使用することを述べている。そのストラテジーの一つとして、自分の意見を述べる場合、直接的な表現を使わず、あえて、引用形式を用いることがあることが指摘されている。

### 5.3. 自己の専門または熟達領域に関する情報の引用

話し言葉やくだけた会話に使われるとしている「って」であるが、講演会などのフォーマルな「独話」にもよく使われることは既に指摘した。その中で、話し手の専門分野の知

識やよく知っていることを述べる時に、「って」がよく使われる例が多く観察された。これを、「自己の専門または熟達領域に関する情報の引用」とする。以下例をあげておく。CSJで音声をも自動解析する際に、促音のポーズが文が切れ目と理解され節単位の境界を示す記号が入っているところがみられた。前後の文脈から筆者が文の境界ではなく促音と解釈したものは(?)で示した。

- (42) 太陽系で内側から四番目にある地球の一つ後ろにあるこの惑星は木の一本も生えてない(ま)火星なんですけど。(ま)木の一本も生えてない乾燥した荒れ果てた荒野が広がっています。(ま)火星より更に太陽から遠くなる惑星には水はととも(少なくな)少なくて(ま)たとえ、あったとしても固い氷の状態なんですって。(CSJ S11M1224 独話 男性)

- (43) で(あの一、そのサツマ芋)サツマ芋の(あの一)生産量っていうのは世界で(あの一)一億トンとかいうことで(あの一)ジャガ芋の半分だということなんです(っ?)て。(あの一、その)生産量の八十五パーセントは中国で、後、(インド)インドネシア(ん)を加えて九十二パーセントだっていうことなんです(っ?)て。日本は(あの一)全体の一パーセントを生産してるということなんです。で(あの一、ん)作付け面積も(あの一)明治初期は十五ヘクタールだったって。(CSJ S09F0945 独話 女性)

これらの例は「です」と共起する例が多く、そのようは場合は特に「って」がなくても成立する。つまり、「って」の付与は必須要素ではない。そもそも、なぜ、専門知識という難しいことを語るとき、くだけた会話で使われる「って」が現れるのだろうか。

- (44) (A).火星より更に太陽から遠くなる惑星には水はととも少なくて、たとえ、あったとしても固い氷の状態なんです。  
 (B).火星より更に太陽から遠くなる惑星には水はととも少なくて、たとえ、あったとしても固い氷の状態なんだそうです。  
 (C).火星より更に太陽から遠くなる惑星には水はととも少なくて、たとえ、あったとしても固い氷の状態なんですって。

もちろん、話し手が専門知識を紹介する時、「情報のなわばり理論」にのっとって44(A)のように直接形で述べるができる。しかしその一方で、間接形である44(B)や44(C)で述べることも可能である。それは何故だろうか。

話し手は、目の前の聞き手にあわせてストーリーを構成して去過程で、単なる事実の羅列ではなく、わかりやすい例を上げたり、専門用語を言い換えたりして、聞き手を話に引きつけるための様々な工夫をする。その際に引用形式が多く使われることが言われている。有田(2013:228)では「人がストーリーを語る際に頻繁に使用する言語装置のひとつとして、自己や他者の声の引用があることは、これまでに多くの研究で示唆され

てきた」と述べられている。

例をあげる際に、44(B)のように、「そうだ」を使って客観的な情報として引用してもいいし、44(C)のように「って」を使って、私的な経験や考えを情報リソースとして引用することもできる。逆に、その知識を自分のものとしている専門家だからこそ、その知識に解説を加える際に、自分の私的領域内情報として「って」で話すことが可能ともいえる。また、「って」で語られた情報は、私的領域内情報であるため、話し手の胸襟を開いてみせてもらったような親近感を生む効果がある。

このように、本研究では、話し手が専門領域の知識を自分自身の言葉として語る時にも、「って」が現れ得ると考える。また、「って」には「聞き手への働きかけ」があるため、藤田(2014:377)で述べられたように、聞き手に「語りかけている」な臨場感がうまれ、難しい内容をやわらげる働きをすると考える。つまり、「って」は単に話し手の情報を伝えるだけではなく、聞き手にも情報の共有を誘う形式なのである。

話し手はストラテジーとして「って」を使用することによって、聞き手を話に引き込む効果を期待している。

#### 5.4. 自己の個人的情報の引用

最後に自己の個人的情報の引用について述べる。この個人的情報の中に、話し手の事情、感想、印象、考えたこと、主張、希望など、話し手内部の個人的な情報が入る。「私はこう思っている」という話し手の心の声の伝達になる。

(45) (=4)

大人をみると、仕事は大変なんだなって。 (筆者作例)

45を「大人をみていると、仕事は大変です」という「って」がない形式で述べると、「私が個人的に感じていることなんだけど」という「って」が持つニュアンスが消えてしまう。「なんだな」というつぶやきを表す形式もあいまって、心の声をその場で聞いているような、聞き手に語りかけるような効果がある。

これは独話で、自分の考えや気持ちを述べる場合にも使える。そうすると、たとえ固い話をしていたとしても、「って」を入れることで、それに対しての話し手の意見や疑問、感じたことを挟み込んでストーリーを語るができるようになり、臨場感溢れる効果を生む。

(46) 地元が熊本なんで明らかに、全然(あ)スピードが違うんです。本当、(まー)それはなぜかと言うと(ま)、(田舎とか)田舎は(まー)都会に比べて、(まー)交通機関があまり発達してない為に、(に、まあ)車とかバイク、バスとかになるって。その為にあまり歩く機会っていうのが少ないって。(ま)他にも(まー)のんびりしているからという、そういう風な地方独特な、そういう雰囲気を醸し出してるかもしれないって。

(CSJ S04M0421 独話 男性)

## (47) (=26)

その害虫を有用昆虫として扱うテーマの論文を書いたんですよ。で、何で虫かっていうことなんですけど、私、(あの) 食べるの凄く好きで、んで、下手物とかも大好きなんですよ。で、よくテレビとかでタレントさんが下手物食べて、きゃあきゃあ言ってる番組あるじゃないですか。ああいうのを見ててもちょっと納得行かないと言うか、私は何でも食べれるんで何であんなに嫌がるのかなって。

(CSJ S00F0082 独話 女性)

また、「って」は単なる伝達ではなく、相手に情報の共有を働きかける力があるため、伝わっているはずの自分の気持ちを相手が理解してないと感じる時に、「私は～と思っている」ときにも現れる。伝わっていないものを伝え、かつ、聞き手を話に引き込む効果があるため、自分の感情を強く主張する用法になる。使われる文脈によって、「強調」「相手の話に反発する」「警告」「命令」「挑発」などの語用論的な意味が生まれる。

## (48) 強調

1A: それ本当?

2B: 本当だって! (筆者作例)

## (49) 反発

(嫌がっているのに、何回もくすぐってくる相手に)

1A: やめろって!

## (50) (=9) 警告/反発

1A: 太郎、そろそろゲームをおしまいにしなさいよ。

2B: うん。

[1時間後、太郎はまだゲームをやめない]

3A: ねえ、もういい加減やめなさいって。

4B: わかってるって。 辻 (2001)

## (51) (=10) 命令

(打ち上げ花火の準備の花火をしている大人のそばによってこようとする子供に)

1A: 近づかないでって! 辻 (2001)

## (52) (=11) 挑発

1A: やーい、飛べないだろう。

2B: うーん。

3A: くやしかったら、飛んでみろって。 辻 (2001)

これらは直接的な形で言うことも可能である。しかし、状況的に相手が話し手の気持ちを理解していて当然であるにもかかわらず、再度、自分の気持ちを「引用」という括弧付きで述べる時、「強調」のような新たな語用論的效果を生む。上記の例は話し手と

聞き手が対立的な状況であるためマイナスの意味が多かったが、相手の側に立って、相手にプラスになるようなことを述べる場合にも使うことができる。その場合は、「勧め」「勧誘」のような意味になる。

## (53) 勧め

この服、絶対あなたに似合うって！ (筆者作例)

## (54) (=12) 勧誘

1A: 困ったなあ。辻 (2001)

2B: だから、なにはともあれ、相談に行こうって。 辻 (2001)

最後に加藤 (2010:160) で「④自己演出用法」としてあげられていた言語を理解して、発話に適切に反応することが期待できない聞き手 (例えば、幼児や動物) に話す時につくものについて考えてみたい。

## (55) =(15) (成人 T が、友人の子供 (1 歳 8 ヶ月: 仮名「ひなこ」) に向かって話しかけている。周囲にはその子供の親、親の友人ら計 5 人の大人がいる)

T: ひなこちゃん、食べますかーって。これ、食べますかーって。

加藤は自分は答えの期待できないものに話しかけていることを自覚していることを周囲に伝えており、言葉以外の何らかのコミュニケーションを成立させたい気持ちがうかがえるとしている。もちろんこう考えることも可能だろう。しかし、ここであえて引用形を使う理由を考えてみたい。

有田 (2013:228) では先行研究のまとめの中で「会話においても用いられる引用は、実際に実在の人物が過去に発言した内容を再生するものばかりではなく、想像上の人物の仮想的発話や内言も含まれる」ことを述べている。つまり、自分を誰かのキャラクターに仮託してそれを引用として発話することができる。加藤 (2010) の例を母親とひなこの二人だけのシチュエーションで作ってみる。

## (56) (母親がまだ言葉の話せない幼児のひなこにヨーグルトを食べさせている)

1A 母: ひなこちゃん、ママがあと一口、食べますかーって。はい、あーん。  
(口にヨーグルトを入れようとするが、ひなこは口を一文字にする)

2A 母: あら、ひなこちゃん、お腹いっぱいだって。ご馳走様にしようか。  
(筆者作例)

ひなこはまだ言葉が話せないが、話し手の母親は、「ひなことママ」というキャラクターを設定し、その 2 人の会話を自分 1 人で行っている。そのため、自分の自身の発話であっても、「って」で行っている。

動物の場合も考えてみる。

(57) (父親と娘が犬のタロウをしつけている)

1A 父: タロウお手!

(タロウは無視する)

2B:娘: お父さんのいうことは聞かないって。(筆者作例)

娘は犬のタロウの意図を読み取り、タロウのキャラクターになって「って」で発話している。このように、「って」は話し手の心の中で想定した内言を、別のキャラクターに仮託して発話することも可能なのである。

## 6. おわりに

最後にこれまでの議論をまとめていく。本研究では「って」は話し手の「私的領域内情報」を引用していると考えられる。神尾(2002)では、話し手のなわ張りに属するものは「直接形」で表され、聞き手のなわ張りに属するものは「間接形」で表されるとしている。つまり、私的領域内情報に間接形である引用の「って」を使うことは、このルールに違反しているのである。しかし、本研究では、私的領域内情報にあえて間接形である「って」を使うことで、特別な語用論的效果を生んでいると考えられる。

1つ目として、「a. 内的直接体験を表す情報の引用」と「b. 外的直接体験を表す情報の引用」について述べる。それらは、直接的であれ間接的であれ、話し手が見たり聞いたりして、取り込んだ情報を聞き手に伝達することを目的とする。それらに「って」を使うことで、話し手は一度、私的領域内情報に取り込んだ情報であることを明示しながら、聞き手に伝えることになる。引用する情報は話し手の理解に基づく私的な情報であるので、引用という形式にのせる以上、発話の形になっているが、必ずしもオリジナルの発話をそのまま再現しているのではなく、話し手が聞き手にあわせて再構成した引用である。また、リアルタイムの引用として、その場で聞いた相手の言葉を引用することもできる。聞こえなかったことを引用すれば「聞き返し」「問いかえし」になり、聞こえていても理解したくないことを引用すれば、「いらだち」「不満」「意外感」「驚き」といった意味になる。

2つ目として「c. 自己の専門または熟達領域に関する情報の引用」について述べる。これは、話し手自身の専門的な知識を語る際に、目の前の聞き手にあわせてストーリーを構成している過程で、わかりやすい例をあげたり、情報を追加したり、専門用語を言い換えたりする時に「って」を使用する。話し手は聞き手に対して、「って」によって知識を共有させる働きかけをしており、それが、聞き手に親近感を感じさせたり、語りかけているような臨場感を生む。

3つ目として、「d. 自己の個人的情報の引用」について述べる。これらは、話し手の事情、感想、印象、考えたこと、主張、希望など、外から見てわからない話し手の心の声が入る。「私はこう思っている」という話し手のリアルタイムな感情や思いの伝達になり、聞き手に胸襟を開いているような印象を与える。本来ならば「直接形」で語られるべきなのであるが、私たちがコミュニケーションを行う場合、できるだけ相手と協調的に話

を進めていく必要がある。そのため、自分自身の意見を言って、それが相手の意見と異なる場合、Brown and Levinson (1987) で述べられるように、聞き手のフェイスを脅かす (Face Threatening Act: FTA) ことになる。それを避けるために間接形である「って」が使用される。

(58) (友達の結婚の贈り物を A と B で考えている)

1A: バカラのペアグラスはどうかかな？

2B: (A) 高いよ。

(B) 高いそうだよ。

(C) 高いかなって。

(D) 高いって！ (筆者作例)

59 のような例の場合、(A) のように真っ向から直接形で述べると、聞き手との意見の対立を生む。そのため、聞き手と意見が異なる可能性がある場合、(B) や (C) のように引用形式で自分の意見を述べて、非明示的な形式で反対だということを伝達している。ただ、同じ引用でも、(C) のように話し手の心のつぶやきを控えめに述べることで、相手に自分の意見を押しつけず、より聞き手のフェイスに配慮している。一方で、(D) のように、聞き手と意見が違っていても、自分の意見を主張すれば FTA を行った強調的な用法になり、自分の意見を押しつける意味になる。

最後に、独り言的な「って」について述べる。従来の研究では、「って」は聞き手目当てのため、独り言としては使えないとされてきた。「って」は聞き手がいることが前提であるにもかかわらず、独り言のように使っている点でユニークである。

(59) =(27) 俺の仕事、うばいやがって。

(60) =(28) 実力以上にチャホヤされやがって。

この用法は「～やがって」の形で、「軽蔑」や「憎しみ」などを表す。独り言的と言ったのは自分の感情を何でも「って」を使って独り言を言えるわけではないからである。この文を発話する時は、いくつか条件がある。まず、話し手には想定される特定の相手がいることが大前提である。また、自分の感情ではなく、相手の行動を述べる時のみに使う。常に、「～やがって」という形で使われるので、一種の定型表現になっている。本来ならば、その相手に聞かせたいところであるが、現実としてそれば難しい場合や、誰かに自分の感情を知ってほしいという時に発話が起る。独り言として使ってもいいが、相手にぶつけることも可能なため、独り言的な用法としておく。

これまで、引用形式といわれている「って」が文末に付く場合、終助詞的な機能をもつことを論じた。それら様々な意味や用法は、私的領域内情報をあえて引用形式で表すという、「情報のなわ張り理論」から逸脱することで生まれた語用論的効果であった。このように考えることによって、文脈の数だけ出てくる文末の「って」に包括的な説明を与えることができるようになった。

## 参考文献

- 有田有希 (2013) 「食わせれる? 旦那」にみる伝統的結婚観とそれに拮抗する新たな規範の交渉 『ナラティブ研究の最前線-人は語ることで何をなすのか』 ひつじ書房
- 岩男考哲 (2003) 「引用文の性質から見た発話「～ッテ」」 『日本語文法』 3-2 日本文法学会
- 大島デイヴィッド義和 (2017) 「主要部を持たない日本語従属節-「シテ」・「言ッテ」・「思ッテ」の不在-」 『言語研究』 151
- 加藤陽子 (2010) 『話し言葉における引用表現～引用標識の注目して～』 くろしお出版
- 鎌田修 (2000) 『日本語の引用』 ひつじ書房
- 神尾昭雄 (1990) 『情報のなわ張り理論』 大修館書店
- 神尾昭雄 (2002) 『続・情報のなわ張り理論』 大修館書店
- 許夏玲 (1999) 「文末の「って」の意味と談話機能」 『日本語教育』 101 日本語教育学会
- 三枝令子 (1997) 「「って」の体系」 『言語文化』 34 一橋大学語学研究室
- 滝浦真人 (2008) 『ポライトネス入門』 研究社
- 田中章夫 (1973) 「終助詞と間投助詞」 『品詞別 日本文法講座 9 助詞』 明治書院
- 辻加代子 (2001) 「東京方言「ッテ」「ッテバ」の用法について: 文末詞的用法について」 『阪大社会言語学研究ノート』 3 大阪大学大学院文学研究科社会言語学研究室
- 仁田義男 (1991) 『日本語のモダリティと人称』 ひつじ書房
- 廣瀬幸生 (1997) 『指示と照応と否定』 第一部 中尾実編
- 藤田保幸 (2002) 「引用形式の複合辞化-ムード助動詞的形式への転化の場合」 近代語研究会編 『日本近代語研究』 3 ひつじ書房
- 藤田保幸 (2014) 『引用研究史論』 和泉書院
- 堀口純子 (1995) 「会話における引用の「～ッテ」における終結について」 『日本語教育』 85 日本語教育学会
- 山崎誠 (1996) 「引用・伝聞の「って」の用法」 『国立国語研究所研究報告集』 17 国立国語研究所
- Brown, P. and Levinson, S. (1987) *Politeness: Some Universals in Language Usage*. Cambridge: Cambridge University Press.
- Suzuki, S. (1998) The and nante: Markers of psychological distance in Japanese conversation. *Journal of Pragmatics*, 29, 429-462.
- グループ・ジャマシイ編 (1998) 『教師と学習者のための日本語文型辞典』 くろしお出版

## 用例出典一覧

CSJ と書かれた用例は『日本語話し言葉コーパス』(Corpus of Spontaneous Japanese)からの引用である。

「となりのトトロ」アニメ映画 (1988年公開) 監督: 宮崎駿

「千と千尋の神隠し」アニメ映画 (2001 年公開) 監督: 宮崎駿

「ハウルの動く城」アニメ映画 (2004 年公開) 監督: 宮崎駿

**Author's web site:** <http://www.shoin.ac.jp/>

(受付日: 2018 年 1 月 10 日)